



2023年8月3日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
代 表 者 代表取締役社長 古川 徹
(コード番号 6403)
問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記
(TEL 03-3426-2131)

営業外費用発生に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第1四半期連結決算並びに個別決算において、下記の通り営業外費用として、それぞれ持分法による投資損失、債務保証損失引当金繰入額を計上することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分法投資損失並びに債務保証損失引当金繰入額の概要

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国の **Suido Kiko Middle East** (以下、**SKME**社、当社出資比率49%) が締結する工事請負契約に関し、現地金融機関が発行する銀行保証等に対して債務保証を行っております。

SKME社につきましては、2023年5月11日公表の「営業外収益並びに営業外費用発生に関するお知らせ」において、今後の見通しに記載の通り、**SKME**社が請け負った建設工事について、顧客への引き渡しまでの契約上の義務を確実に履行させることが、不測のリスクを回避することに繋がるため、当社は、債務保証を継続し、**SKME**社が抱える工事案件の完工・引き渡しを順次進めているところです。

2024年3月期第1四半期連結累計期間における**SKME**社の業績につきましては、引き続き契約工事の完工および引渡しを進めるとともに、所要の販売費及び一般管理費並びに金融費用が発生したことから、2023年3月期末時点に比べ債務超過額が1億76百万円増加しました。このため**SKME**社の財政状態並びに当社の債務保証差し入れ状況を勘案し当社の債務超過負担額を見積った結果、**SKME**社の債務超過増加額1億76百万円全額を当社負担として、連結決算においては持分法による投資損失、個別決算においては債務保証損失引当金繰入額としてそれぞれ営業外費用として計上いたしました。

2. 業績への影響

2024年3月期連結決算並びに個別決算への影響につきましては、2023年5月11日公表の「2023年3月期決算短信[日本基準](連結)」に記載の通り、上記記載の持分法による投資損失の発生及び見直し等を反映の上、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を見込んでおります。

3. 今後の見通し

当社の**SKME**社に対する未引当の債務保証額は、2024年3月期第1四半期末時点で11億78百万円(2023年6月期末換算レートベース)となり、未引当の債務保証額が残るため、今後の債務超過額の増減発生により業績へ影響を与える可能性があります。当社は、引き続き**SKME**社の経営管理を強化し、損失額の圧縮並びに債務保証等のリスク極小化に向けて取り組んで参る所存です。

以上